

民生費

〔質疑〕子育て支援サービス利用助成金として、159万3千円を計上しているが、事業の概要について伺う。

〔答弁〕保育園や幼稚園の一時預かり事業や、ファミリーサポートセンター事業を利用する児童の利用料金について、宮城県少子化対策市町村交付金を活用し、子ども一人当たり年間1万5千円を上限に助成するものである。

上限を設定したのは、市の子育て支援サービスを、多くの方に利用していただくためである。

土木費

〔質疑〕橋梁長寿命化対策事業について、詳細を伺う。

〔答弁〕国の道路更新防災等対策事業費補助金を活用した道路のインフラ整備、特に橋梁の修繕を行う事業で、令和4年度は、橋梁点検において早期に予

防保全の必要があると判定された、沢端町地内および大鷹沢三沢地内の計2橋の詳細設計と修繕工事などを予定している。

教育費

〔質疑〕学力向上プロジェクトの成果と、公立学校情報化ラッキングでの成績について伺う。

〔答弁〕令和3年12月に行なった学力調査では、教育改革をスタートさせた令和元年度からの推移を見ると、小学2年生以外の全ての学年で、全国平均との差が改善傾向にあるという結果となった。

また、学力が身についたことの目安である達成率についても3年連続で向上、V字回復を見せている学年など、非常に多くの学年で改善傾向が見られる結果となった。

公立学校の情報化については、日経BPPが文部科学省の調査を独自に分析した結果、本市の小学校において東北で第1位、中学校においては第12位と

令和4年度 一般会計予算

(単位：千円・%)

歳 出		
款 別	予 算 額	構 成 比
1. 議 会 費	164,990	1.12
2. 総 務 費	2,352,888	15.98
3. 民 生 費	5,226,589	35.51
4. 衛 生 費	1,914,606	13.01
5. 労 働 費	1,617	0.01
6. 農 林 水 産 業 費	332,351	2.26
7. 商 工 費	418,850	2.84
8. 土 木 費	1,362,864	9.26
9. 消 防 費	503,931	3.42
10. 教 育 費	1,196,127	8.13
11. 災 害 復 旧 費	2,991	0.02
12. 公 債 費	1,227,087	8.34
13. 予 備 費	15,359	0.10
合 計	14,720,250	

令和4年度 各会計予算

(単位：千円・%)

会 計 別		令和4年度 予 算 額	令和3年度 予 算 額	令和3年度 当初予算比
一 般 会 計		14,720,250	14,501,184	1.5
特 別 会 計		8,231,871	8,022,064	2.6
会 計 内 訳	国民健康保険	3,785,568	3,677,640	2.9
	介護保険	3,983,048	3,933,659	1.3
	後期高齢者医療	463,255	410,765	12.8
合 計		22,952,121	22,523,248	1.9

企業会計

水 道 事 業 会 計	1,145,042	1,153,316	△ 0.7
下 水 道 事 業 会 計	1,821,954	1,845,429	△ 1.3

※企業会計については収益的支出＋資本的支出額

いう結果となった。

現場の頑張りがこのような結果となったことから、さらに学校の支援、後押しをしていきたいと考える。

〔質疑〕昨年10月の電子図書館導入による効果について、どのように分析しているか伺う。

〔答弁〕令和3年10月から令和4年1月までの貸出数は、延べ

1千893冊、一日当たり18.3冊、ログイン数は2千344件、一日当たり22.5件となっている。

効果については、これまで図書館を利用する予定のなかった方が、電子図書館利用のため、利用者カードの新規登録に來たこと、GIGAスクール構想により、一人1台のタブレットが小中学校に配備されたことを受け、学校との連携協力によ

り、ほぼ全ての児童生徒が利用者カードの登録を終えていること、インターネットの環境さえあれば、どこからでも電子書籍を借りることができることから、音声読み上げ機能や文字の拡大機能によって、視覚障害者などの読書困難者が、本を読むことができることなどが効果として挙げられる。